

# 居合道の活動

〔小学生県代表者賞〕

後藤 桜（梧道館後藤道場）

〔私と剣道〕

二位 山田 彩都（羽島市剣道教室）

三位 大井 望生（雙柳館岩崎）

〔中学生県代表者賞〕

江幡佳那子（梧道館後藤道場）

〔あこがれを後輩達に〕

二位 長屋 健人（雙柳館前一色）

三位 廣田 佳子（賜生道場）

## ◎各地区大会の実施

・飛騨地区大会 十二月十一日 高山市

・加茂地区大会 三月十二日 八百津

・岐阜地区大会 三月十二日 羽島市

・中濃地区大会 三月十二日 美濃市

※【本年度登録数】

・加盟団体数：四十六団体

・会員登録選手数：七百八十二名

（文責）岐阜県剣道道場連盟

事務局長 早矢仕 克己



## ◎第五十回岐阜県居合道大会

香村 茂

新型コロナウイルス感染症の為に延期されていた岐阜県居合道大会が令和四年六月五日、岐阜市岐陽体育館に於いて、三年ぶりに開催された。コロナの影響もあり参加者は例年よりも少なく役員選手で七十余名の参加でした。

コロナ感染防止対策を講じて、大会の規模を縮小し午前中に終了目途で開催した。開会式のと、七段の演武、その後二試合場で六段の部から初段以下の部まで試合を行った。コロナ禍で稽古不足の選手も見られたが、見応えのある立派な演武も見られ、コロナを吹き飛ばす熱気ある試合もあって大会は盛り上がった。成績は、次のとおり。

### 地区別団体成績

優勝 岐阜地区

準優勝 飛騨地区

三位 西濃地区

### 初段以下の部

優勝 柳田 千穂

準優勝 浅野 勉

三位 朝日 久男

### 二段の部

優勝 平田 桜

準優勝 菅原 敬二

三位 後藤 淳

### 三段の部

優勝 丹羽あおい

準優勝 荒木 泰久

三位 小川 誠

### 四段の部

優勝 平賀 友大

準優勝 三島 健

三位 澤田 健

### 五段の部

優勝 村橋 祐輝

準優勝 安藤 健介

三位 水野 友紀

### 六段の部

優勝 日比野卓哉

準優勝 渡辺 直

三位 栗本 英

### 七段の部

優勝 志津野 泰幸

準優勝 矢澤 夏女

三位 伊藤 彰

## ◎岐阜県居合道伝達講習会

参川 憲昭

令和4年9月25日 岐阜県総合体育館において65名の参加を得て伝達講習を実施した。午前中は全日本剣道連盟居合の礼法からはじまり、一本目から十二本目までを居合道解説書、及び指導要点に基づき、矢澤七段の演武で参川の解説で実

施した。

解説のあと段別に分かれて全剣連居合の実技指導をした。

特に一本目の重要性を説いた。全ての基本であることを考えて十分に稽古をしてほしい。

午後からは審判実技講習をする。六段、七段を対象として、旗の表示要領、交代の仕方などのほかにコロナ禍における、新しい旗の置き方、交代の仕方などを細かく、繰り返し講習をした。

## ◎第五十七回全日本居合道大会

監督 参川 憲昭

令和4年10月8日土曜日に東京都足立区綾瀬の東京武道館において開催されました。

入館受付についてコロナ禍という厳しい状況の中で細かい決めごとがあり、「健康記録表兼確認票」の提出など刀剣検査等、各試合場には選手と監督のみとなり、いろいろと初めての事が多い中で大会運営となりました。

岐阜県選手団は 監督 参川 憲昭。五段は村橋 祐輝、六段は日比野 卓哉、七段は志津野 泰幸、補助監督は香山 茂で構成。

コロナ禍ではありましたが強化稽古には厳しく激しい練習に選手が耐えてくれました。

指定技は四回戦まで「柄当て」「諸手突き」「四方切り」、準決勝戦および決勝戦は「受け流し」「添え手突き」「総切り」であります。